

犬・猫を飼っている人へ

マナーを守りましょう

ペットに関する苦情や相談（主にふんや尿に関するもの）が増えています。他の人の迷惑にならないよう、次のことに注意しましょう。

犬の飼い方



◆リードにつなぐ

小さな犬であっても、犬が苦手、犬が怖いと思う人がいます。

犬のとなりの行動に対応できるようにリードは短めに持ち、首輪が抜けないように定期的にサイズの調整や劣化がないか確認しましょう。

◆正しいしつけをする

無駄吠えや犬同士のけんかなど、散歩中のトラブルを未然に防ぐために、きちんとしたしつけをすることが大切です。

◆ふんは必ず持ち帰る

散歩時はふんを入れる袋を持ち歩き、必ず持ち帰りましょう。尿も水で流し、臭いや汚れを落としましょう。

◆飼い主の義務を果たす

◇犬の登録（生涯1回）

◇狂犬病予防接種（年1回）

◇鑑札と注射済票の首輪への装着

猫の飼い方



◆室内で飼育する

室内で飼育することで、交通事故や感染症にかかるリスクなどを減らすことができます。周囲に迷惑を掛けないためにも室内で飼育しましょう。

犬・猫共通



◆名札を付ける

首輪に飼い主の連絡先などを書いた名札やマイクロチップなどを付けましょう。

◆不妊・去勢手術を行う

望まれない命を増やさないために、不妊去勢手術を行いましょう。

◆最後まで責任をもって飼う

動物を傷つけたり捨てたりすることは犯罪です。違反すると動物の愛護及び管理に関する法律により罰せられます。

飼い主のいない猫への無責任な餌やりはやめましょう

猫は繁殖力がとても強く、無責任に餌やりをすると、さらに猫の数を増やすことになり、ふん尿や鳴き声などの近隣トラブルの原因となります。

飼い主のいない猫に餌を与える場合は、次のことを守り、近隣住民とのトラブルが発生しないように心がけましょう。

◇近隣住民の理解を得る

◇不妊去勢手術をする

◇餌の食べ残しはすぐに片づける

◇餌場のすぐ近くにトイレを置く

◇周辺環境の美化に努める

不妊去勢手術のメリット

◇数が増えない

◇鳴き声やけんかが減る

◇マーキングによる尿の臭いが軽減される

◇繁殖のストレスから解放され、穏やかになる など

地域猫活動を行っています

近隣で飼い主のいない猫が増え、ふん尿や鳴き声、ごみを荒らされる

など、苦情や相談が増えていきます。猫による問題を解決するための取り組みとして行っているのが地域猫活動です。

地域猫活動とは

地域の理解を得て、飼い主のいない猫に不妊去勢手術を受けさせ、トイレの管理や餌やりなど一定のルールに従いながら、地域で猫の世話をを行う活動のことです。

地域猫活動では、不妊去勢手術により一代限りの生を全うさせ、数年かけて地域から飼い主のいない猫がいなくなることを目指します。



活動支援を行っています

市では、地域猫活動の認定を受けた地域グループに対し、地域の勉強会や不妊去勢手術費用の助成など、活動支援を行っています。

●問い合わせ先

循環型社会推進課生活環境・最

終処分場担当

☎(580)1887